

## ストーリーテリングを楽しみませんか？

「ストーリーテリング」は本を使わず、語り手がお話をします。想像力を膨らませて、お話を楽しむことができます。  
ストーリーテラーとして東海各地で活躍している「しずくの会」のお二人をお招きして、大人向けお話し会を開催します。  
対象は10歳以上、参加は無料です。ぜひお越しください。



日時：6月18日（木） 午前10時30分～正午（午前10時から受付）

場所：可児市立図書館 3階会議室

語り手：しずくの会（下澤いづみさん、檜崎久美子さん）

プログラム：「ムギと王さま」（ファージョン／作）、「おじさんのかさ」（佐野洋子／作）、  
「三本の金の髪の毛」（旧チェコスロバキアの昔話）ほか

定員：一般30名（6月5日から受付、先着順）

申込方法：可児市立図書館本館へ直接、もしくは電話でお申し込みください。

電話番号：（0574）62-5120

## 職員のおすすめ《この書き手に注目！》

## 白洲 正子

（しらす まさこ 1910年～1998年 東京都生まれ）  
薩摩隼人の海軍軍人・樺山資紀伯爵の孫娘として生まれる。4歳から能を修める。女性ではじめて能の舞台に立つ。14歳でアメリカ留学。白洲次郎と結婚。戦後は文学や古美術の世界へ入っていく。著書に『かくれ里』（新潮社）、『対座』（世界文化社）、『いまなぜ青山次郎なのか』（新潮社）など。

白洲正子さんをご紹介します。正子さんは、様々な文化人との交流があり、古典の道を探究しつづけた女性。荒川豊蔵氏との親交もあり、可児にもよく足を運ばれていました。随筆家としてもよく知られています。

そして吉野に住む歌人・前（みさき）登志夫氏と出会い、魂の交流を深めます。今回、ご紹介する『魂の居場所を求めて』白洲正子・前登志夫／著（河出書房新社）は、二人の出会いの記録ともいえる作品。西行法師や天武天皇のことなど、尽きせぬ思いが語られています。前氏の存在が触媒となって正子さんの内面から言葉がにじみ出ています。翁と山姥の世界をお楽しみください。また、正子さんの死後、行われた孫の白洲信哉氏と前さんの対談が収録されています。孫の目から見たおばあさんの様子が愉快地語られています。

（桜ヶ丘分館 日比野）

## 曾野 綾子

（その あやこ 1931年東京都生まれ）  
17歳でカトリック受洗。1954年に『遠来の客たち』が芥川賞候補となる。以降、宗教、戦争、社会問題をテーマに幅広い作品を発表。著書に『天上の青』（毎日新聞社）、『人間にとって成熟とは何か』（幻冬舎）など。

今回ご紹介する『観月観世 ある世紀末の物語』（集英社）は、著者のエッセイや他の小説を読んだことのある方にとっては、曾野綾子らしからぬ印象の作品かもしれません。

年齢も仕事も異なる男女が満月の夜に集まって、お互いの素性も話の真偽も詮索せず、月を眺めながら語りあう、というだけの物語。参加者たちはおよそ常識的ではない人間の闇の部分も淡々と語り、それぞれの人生観を静かに味わいます。参加者の話にも小説自体にも結論があるわけではないのにどこか惹かれるのは、この作品に他ではあまりみられない曾野綾子の一面が感じられるからかもしれません。「私は自分の狂気の部分を知っているから、現世には厳しく正気を求め、健全を愛した」という、著者によるあとがきの一節を読むと、物語がいつそう味わい深く思え、大人におすすめしたくなる作品です。（本館 熊崎）

## あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
情報、ジャーナリズム			
016.2 マ	<b>マイクロ・ライブラリー 人とまちをつなぐ小さな図書館</b> 個人が運営する小さな図書館「マイクロ・ライブラリー」。自宅だけでなく商店街・公共図書館・病院・大学など、本を通して人とつながる場をつくる取り組みを一举紹介。	まちライブラリー	学芸出版社
020.2 ケ	<b>世界を変えた100の本の歴史図鑑</b> 古代エジプト以来、本の歴史は、昔ながらの技術を放棄しては新たな技術を採用することの繰り返しだった。パピルスから電子書籍まで、本の歴史を、本の発展において重要な役割を果たしてきた 100 冊の本でたどる。	ロデリック・ケイヴ	原書房
人物・地理			
289.3 デ	<b>ナポレオンに背いた「黒い将軍」</b> 文豪デュマ・ペールの父にして、有色人種で初めて将軍に昇進したデュマは、捕虜となって牢獄に囚われてしまう…。「モンテ・クリスト伯」のモデルとなった風雲児の数奇な生涯と、革命と戦争の時代を活写する。	トム・リース	白水社
299.2 ナ	<b>日本海ものがたり 世界地図からの旅</b> 日本海がはらむ、豊かな他者の物語＝歴史へ。「西遊記」「ガリヴァー旅行記」、ラペルーズの大航海…。多彩な資料から浮かび上がる、身近な海の新たな姿。思考を広やかな地平へと誘う、トポグラフィック・エッセイ。	中野 美代子	岩波書店
社会、教育			
316.4 チ	<b>地図と写真で読む「イスラム国」の全貌</b> たとえ「イスラム国」が消えても新たな「イスラム国」がまた、生まれる。その理由とは一。宗教、国家、民族、中東と欧米の関係、コーランの教え…。地図と写真で、さまざまな角度から過激派組織「イスラム国」の正体をえぐる。	黒井 文太郎	TAC株式会社出版事業部
369.3 ボ	<b>防災・減災につなげるハザードマップの活かし方</b> 自治体から配られたハザードマップ、どこかにしまいこんだままにいませんか？そもそもハザードマップとは何か、そして、地図から何を読み取り、いざというときにどのように役立てるのかを説明します。	鈴木 康弘	岩波書店
379.9 ナ	<b>子どもはみんな問題児。</b> どの子もみんなすばらしい問題児、想像力豊かな子は遊び上手、子どもにもおもしろい本は大人にもおもしろい…。「ぐりとぐら」の生みの親が、子育てに悩むお母さんに贈る、心がほぐれる 45 のメッセージ。	中川 李枝子	新潮社
373.4 ク	<b>奨学金借りる？ 借りない？ 見極めガイド</b> いったい、いくら借りられるの？ 滞納したら？ 親の収入が不安定でも大丈夫？ 日本一わかりやすい奨学金ガイド。メリットとリスクを正確に理解して活用するために、本人とその家族の立場に立った利用法を解説する。	久米 忠史	合同出版
382.1 イ	<b>全文読破柳田国男の遠野物語</b> 「遠野物語」の道案内となる書。声に出してすらすら読めるよう本文の漢字にすべて振り仮名を付けるとともに、語句には物語の世界の理解を助ける丁寧な注釈を添える。最新の知見を盛り込んだ鑑賞のてびきも収録。	石井 正己	三弥井書店
自然科学、医学			
493.7 ク	<b>うつ病の毎日ごはん (食事療法はじめの一步)</b> 「食」生活をととのえることが、うつ病改善の近道です。科学的根拠に基づいて、うつ病の治療や予防に役立つ食生活習慣・栄養面での注意などを、具体的なレシピとともに紹介します。	功刀 浩	女子栄養大学出版部
技術・家政			
519.8 サ	<b>里山学講義</b> 里山学を詳しく知らない人の手ほどきとなる一冊。里山学の背景とその意義を紹介するほか、各領域の専門家が、里山と人々の関係のあり方、里山の生態学的多様性、社会的背景や政策について論じる。	村澤 真保呂	晃洋書房
559.0 セ	<b>戦国武器甲冑事典 カラー版</b> 戦国時代の武器と甲冑を詳細なカラーイラストで再現し、戦術や用途を踏まえ、細部までわかりやすく解説する。著名な武将が愛用した武器や甲冑についてのコラムも多数収録。	中西 豪	誠文堂新光社

## 産業

- 625.8 ワ **奥飛騨ドラゴン 温泉で育つドラゴンフルーツ** 渡辺 祥二 まつお出版  
なぜ、雪深い奥飛騨で熱帯果実のドラゴンフルーツを育てるのか？まったくの素人が農業生産法人を起業してまでもしたかったことは？温泉熱を活用してドラゴンフルーツを栽培している著者が、これまでの道のりを語る。
- 627.9 コ **香りを楽しむ季節の簡単ハーブブーケ** 近藤 洋子 エフジー武蔵  
アンティークローズのブーケ、ミントとラベンダーのブーケ、タイムのドライリース…。香りのいい花やハーブで作られた小さな花束「タッジーマッジー」と、ハーブで作るリースを紹介します。
- 639.0 ワ **『富岡日記』と世界遺産富岡製糸場を歩く心の旅** 和田 英 ワイズファクトリー  
「富岡日記」を読むと、富岡製糸場がもっとよく分かる！工女になった松代藩士の娘が書き残した富岡製糸場の日常を、現在の中学生や高校生にも読みやすい「現代語訳」で紹介。

## スポーツ・将棋

- 783.5 ニ **頂点への道** 錦織 圭 文藝春秋  
2014年に開花した、「動かず攻める」攻撃テニス誕生の秘密とは。チャンコーチとの出会い、怪我の克服…。2009年からの苦闘を綴った、錦織圭初の公式本。ブログに観戦記等を加えて書籍化。
- 796.0 イ **介護士からプロ棋士へ 大器じゃないけど、晩成しました** 今泉 健司 講談社  
悔しさを全て癒すのは勝利しかない。調理師、証券会社勤務、介護士を経て、41歳でついにプロ棋士となったオールドルーキーが、自身の七転び八起き人生を振り返る。

## 日本文学ー小説

- 913.6 アサ **武道館** 朝井 リョウ 文藝春秋  
武道館ライブの実現を目指して活動するアイドルグループ「NEXT YOU」。恋愛禁止、スルースキル、特典商法、握手会、卒業…。成長する彼女たちをシビアかつ熱を持った視線で描いた長編小説。
- 913.6 アシ **家族計画** 芦崎 笙 日本経済新聞出版社  
「私と子供を作って欲しい」妻子ある大学教授が歳下の女性弁護士から持ちかけられた相談。内閣府の検討会メンバーの2人はやがて、選択的シングルマザー計画の俎上に載り、国の少子化対策のシンボリック役割を担わされるが…。
- 913.6 アト **地下水路の夜** 阿刀田 高 新潮社  
あの名作、あの一言から、驚きの物語が立ち上がる。死者に語る八雲の怪談、コースターに書かれた警句、呪文めいた恩師の呟き…。言葉の力をテーマに紡ぎだす豊饒な12の奇譚。
- 913.6 イヌ **ミツハの一族** 乾 ルカ 東京創元社  
未練を残して死んだ者は鬼となって井戸の水を濁す。鬼となった者の未練を解消し常世に送れるのは、ミツハの一族の「烏目役」と「水守」だけ…。大正時代の北海道を抒情豊かに描くミステリ。
- 913.6 イヌ **鷹ノ目** 犬飼 六岐 文藝春秋  
メリケンでいう賞金稼ぎ、本邦でいう勸賞目当ての流れ者。高札に掲げられた罪人を追って、諸国を旅し事件を捌く、渡辺綱の子孫・条四郎の、悪党たちとの誑かしあいを描く。
- 913.6 カネ **持たざる者** 金原 ひとみ 集英社  
離婚、移住、子供の急死、他者の介入…。思いがけない事故や事件で、平穏な日常や予想されたはずの未来が捻じ曲げられていく。30代男女4人の混沌、屈託、葛藤を鮮やかに描く。
- 913.6 シン **明日の色** 新野 剛志 講談社  
妻子に逃げられた吾郎は、ただいま低額宿泊所の施設長。元ホームレスの若者の絵に目をつけた彼は、失った家族を取り戻すため、起死回生の一手「ギャラリスト」に全てを賭ける！
- 913.6 ドウ **夏の雷音** 堂場 瞬一 小学館  
本の街、神保町から消えた1億2千万の名品。オークションで落札した店主は謎の死を遂げる。大学准教授・吾妻幹は真相を追い始めるが、事件は思いもよらぬ展開を見せ…。

913.6	ナカ	<b>ヒポクラテスの誓い</b>	中山 七里	祥伝社
		凍死、事故死、病死…。何の事件性もない遺体から、偏屈な老法医学者と若き女性研修医が導き出した真相とは？死者の声なき声を聞く迫真の法医学ミステリー。		
913.6	ヒサ	<b>天下 家康伝 上・下</b>	火坂 雅志	日本経済新聞出版社
		信玄・謙信のような軍略の才も、信長の突破力も、秀吉の人間的魅力も持ち合わせていない戦国武将が、なぜ天下人になれたのか。戦国乱世を終わらせた武将・家康の実像を描く。		
913.6	ヒガ	<b>ラプラスの魔女</b>	東野 圭吾	KADOKAWA
		円華という女性のボディガードを依頼された元警官の武尾は、彼女の不思議な〈力〉を疑い始める。同じ頃、2つの温泉地で硫化水素による死亡事故が起きていた。検証に赴いた研究者・青江は、双方の現場で円華を目撃し…。		
913.6	ミヤ	<b>過ぎ去りし王国の城</b>	宮部 みゆき	KADOKAWA
		ヨーロッパの古城をデッサンを拾った中3の真は、絵の中にアバターを描きこむと、その世界に入れることを知る。真はハブられ女子の珠美と冒険するうち、塔の中に少女が閉じ込められていることを発見し…。		
913.6	ヨシ	<b>森は知っている</b>	吉田 修一	幻冬舎
		17歳には、まだなにも分からない。過酷な運命に翻弄されながらも、真っさらな白い地図を胸に抱き、大空へと飛翔した少年の冒険が、いま始まる。ささやかでも確かな“希望”を明日へと繋ぐ長篇。		
日本文学—エッセイ				
914.6	クロ	<b>トットひとり</b>	黒柳 徹子	新潮社
		黒柳徹子が、向田邦子、森繁久彌、渥美清、沢村貞子たちとの友情、「ザ・ベストテン」の日々、結婚未遂事件などを綴る。長年にわたって「小説新潮」等に発表してきたエッセイを改稿し、大幅な加筆を施したものを中心に収録。		

## 子どもと一緒に楽しもう

### さんしろう絵本ライブ開催

岐阜市の絵本と童話の店「おおきな木」の店長、杉山三四郎さんによる絵本の読み語り・弾き語りライブです。ぜひお誘い合わせてお越しください。

- 7月4日（土） 午後2時～3時 ■ 可児市立図書館本館 3階学習室にて
- 定員：親子50組（一人での参加も可） ■ 受付開始：6月18日（木）から（先着順）
- 申込方法：本館に直接もしくは電話でお申込ください。電話：(0574) 62-5120
- お願い：駐車場がせまいため、可児市役所駐車場へ回っていただくことがあります。時間に余裕を持ってお越しください。



## 展示のご案内

■ 6/10（水）～25（木） ■

### 男女共同参画週間展（本館1階）

男女共同参画週間（6月23日から29日）にあわせて、男女共同参画社会の実現に向けた啓発展示を行います。

（可児市役所人づくり課）

■ 6/27（土）～7/30（木） ■

### 第二次世界大戦終結から70年・平和を考えるための本展（本館1階）

広島・長崎の原爆投下、終戦から70年が経過します。今もなお世界の各地で戦争が続く中、戦争と平和についての本を手にとってみましょう。

開館時間【本館】平日 10:00～19:00、土日祝 10:00～17:00  
【分館】全日 9:00～17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日  
（6月1,8,15,22,26,29日）



「図書館だより」2015年6月号

発行：可児市立図書館 編集：長谷川（本館） 電話（0574）62-5120

資料検索・予約は <http://www.tosyokan.kani.gifu.jp> をどうぞご利用ください。